

# 「中国・アジア」ダイジェスト

2013.04.22-04.26

\*記事は東京発行・最終版

## CHINA

4月22日(月)

### 中国にロボット工業会

日中独76者／全土を包括

中国で事業活動するロボットメーカーは、中国全土を包括する初のロボット工業団体「中国ロボット産業連盟」(CRIA)を設立した。日中独の団体など76者が参加。安全規格の策定も。(1面)

### 日本勢、総力戦で反攻

上海モーターショー

「上海国際モーターショー」が開幕。日中関係の悪化で販売に苦しんでいた日本メーカーは相次いで品ぞろえを拡充し、総力戦で反転を狙う。VWなど欧米勢は、リードを広げていた。(5面)



トヨタは新型コンパクトカー「ヤリス」で攻勢をかける

### VW、中国製造担当10万人

販売店担当16万人体制

独フォルクスワーゲンは、2018年に中国で自動車の製造に携わる従業員を2万5000人増となる10万人にする。大規模な設備投資に並行して増員。販売店の担当者も約2倍の16万人に。(5面)



### 中国人大学生の採用支援

ソーシャルリクルーティング

SNSを活用した採用支援大手のソーシャルリクルーティングは、中国人大学生の採用を目指す日本企業向けに、成果報酬型サービス始めた。独自の専用サイトを立ち上げた。(8面)

### テレビ初の「エコマーク」

パナソニック／20機種

パナソニックは、テレビ20機種で製品の環境配慮性を認定する「エコマーク」を取得。バックライトに水銀を使わない製品の採用などで環境基準に適合。中国・韓国とも相互認証へ。(12面)

4月23日(火)

### 訪中しても成果見込めず

使節団延期／経団連会長

経団連の米倉弘昌会長は、5月に予定していた中国使節団の延期について「日中韓首脳会談が延期見通しなどを踏まえ、現時点で訪中しても成果が上らない」と理由を会見で述べた。(3面)

### 東郷製作所、A T用パネ工場

アイシンAW増産対応

東郷製作所は、常熟市に自動車用パネとホースクランプを生産する工場を建設し、2014年春をめどに移転する。当初はA T用パネを生産、中国でA Tを増産するアイシンAWに供給する。(7面)

### 中国の小型車 - 苦戦続く

日本勢／問われる競争力

日本の自動車メーカーが、中国での小型車販売で苦悩を深めている。日本メーカーは将来の排ガス規制強化に対応するという大義をかなえるためにも、多面的に競争力を高めていく必要がある。(7面)

### アマダ、中国に7営業所増設

武漢・杭州・広州・東莞など候補

アマダは、2014年3月までに中国の営業所を現在の15カ所から22カ所に増やす。候補地は合肥、武漢、杭州、寧波、広州、東莞など。販売拠点網の拡充により、中国事業拡大を加速する。(8面)

### 三菱電機、放電加工機を拡販

産口ボと組み合わせ自動化

三菱電機は、産業用ロボットと組み合

わせた自動化提案を武器に、中国市場でワイヤ放電加工機を拡販する。自社製の小型垂直多関節ロボットを使い自動化するシステムを構築。(8面)

### 輸入部品、香港に集約

物流費を半減／トボコン

トボコンは、2014年3月に輸入部品の物流費を半減させる。測量機や眼科検査装置向けなどで物量の多い中国部品の日本への輸送方法を変更する。香港拠点に集約し、一括して日本へ。(8面)

### 商用サイト開設、一括提供

フューチャースピリッツ

フューチャースピリッツは、中国国内のデータセンターを利用した共用レンタルサーバの提供を日系向けに始める。中国で商用サイトを開設するためのICP申請やドメイン取得まで代行。(10面)

### アルミ鍛造拠点の増強完了

神鋼／倍増、月25万本

神戸製鋼所は、蘇州市のアルミニウム鍛造拠点の増強工事を完了、稼働を始めた。自動車サスペンション用アルミ鍛造部品の生産能力を従来比2倍の月間25万本に増強。(12面)

4月24日(水)

### 小系製作所、広州の増強再開

夏にも稼働／デモで凍結中

小系製作所は、反日デモで凍結していた広州工場の増強投資を再開し、今夏にも稼働する。生産能力の増強で、広州工場の2014年3月期の売上高は約100億円増の230億円になる。(3面)

### 日新精工、エンジン部品増産

第一汽車・長城汽車向け

日新精工は、常熟市の自動車エンジン用樹脂部品工場を増強する。約5億円投資。インテークマニホールドなどの生産ラインを8本増設し11本にする。現地の第一汽車と長城汽車向け増加。(7面)

### ジャトコ、最新型の無段変速機

広州で生産／東風日産向け

ジャトコは、中国の生産子会社、ジャトコ(広州)自動変速機で最新型の無段変速機「CVT8」の生産を開始した。現地生産能力は年約90万台。東風日産の中国向け「ティアナ」に搭載。(7面)

### ダイハツ、本格生産足踏み

インドネシア／政策施行遅れ

ダイハツ工業は、インドネシア子会社の新工場の開所式を開いた。現地エコカー政策に適用する小型乗用車の年産能力12万台。約200億円投資。政策施行の遅れで、本格生産できていない。(5面)

### 豊田織機、インドネシア拡張

カーエアコン用コンプレッサー

豊田自動織機は、インドネシアのカーエアコン用コンプレッサー工場を移転拡張する。同じ工業団地に2014年5月に新工場。約2倍の年300万台。東南アジアの需要拡大。域外への輸出増も。(5面)

### ラオスにアルミ部品合併

旭テック／月600〇

旭テックは、ラオスにアルミニウムダイカスト部品生産の合併工場を建設し、2014年11月に稼働。月産能力は2016年に600〇に高める計画。東南アジアの日系車関連に供給。(5面)

### インド車用メーター会社に出資

デンソー／意思決定を迅速化

デンソーは、インドの自動車用メーター会社に出資した。自動車部品メーカー・プリコールがメーター事業のみを別会社化し、ここにデンソーが51%を出資。意思決定を迅速にし事業強化。(5面)

### 三井造、港湾クレーン3割増強

東南アなど／ヤード新設

三井造船は、大分事業所で港湾用などのクレーンの生産能力を約3割高める。2013年度10億円投資。東南アジアやアフリカ、中近東などでのコンテナヤードの新設。日本、米国での更新需要。(7面)

### 丹羽鍛造、ベトナムに鍛造工場

東南アなど／高品質品に対応

丹羽鍛造は、2016年稼働をめどに、ベトナム・ダナン市に鍛造工場を建設する。国内は第2工場を軸にマザー工場の機能。東南アジアや中国、インドで高まる高品質品への需要に対応。(7面)

### 中国の営業拠点、10月統合

森精機・独ギルド

森精機製作所の森雅彦社長は、独ギルドマイスターと森精機が別々に持つ中国の営業拠点を10月1日に統合する方針。社員、顧客のトレーニング施設を2014年春に天津工場に設置する。(8面)

### 三共製作、杭州工場を移転増強

工作機械向け製品増産

三共製作所は、杭州市の工場を市内で移転増強、9月稼働。新工場は、産業装置用位置決めユニットに加え、工作機械用オートバレットチェンジャーなど工作機械向け製品の生産も増強。(8面)

4月25日(木)

### 鳥インフル「指定感染症」に

厚労省／5月上旬施行

中国で広がるH7N9型鳥インフルエンザについて厚生労働省は、感染症法に基づく「指定感染症」に指定する方針が厚生科学審議会感染症部会に了承。5月上旬の政令施行を目指す。(2面)

### トッパン・フォームズが出資

浙江茉織華印刷／ビジネスフォーム

トッパン・フォームズは、浙江省平湖市の浙江茉織華印刷と、資本業務提携を締結。トッパンは茉織華にビジネスフォームとデータ・プリント・サービスの製造技術とノウハウを提供する。(10面)

### 山梨の中小製造を常設展示

中国進出を支援／支援機構

やまなし産業支援機構は、県内中小企



山梨県の中小企業が進出を予定する昆山賽格電子市場

### トボコン、タイで部品調達

バンクラ工場供給／ミャンマーでも

トボコンは、タイの部品サプライヤーを開拓するための調査を6月始める。安価なOA機器用の光学レンズユニットを生産するバンクラデシュ工場に供給。ミャンマーでの開拓も視野。(9面)

### タイ石油会社にP M M A技術

旭化成ケミが供与

旭化成ケミカルズは、タイの石油・ガス大手、タイ石油会社に光学部品などに使うメタクリル樹脂(P M M A)の製造技術をライセンス提供する。P T Tは年産4万トンのP M M A生産を計画。(12面)

4月26日(金)

### インドネシアに生地染色で合併

蝶理など／月2万反

蝶理は、染色加工・ウラセ、インドネシアの繊維大手・ダリアテックスと合併で、インドネシアに生地を染色加工する新会社を2万反。縫製の集積地に進出、現地衣料の川下を開拓。(1面)

### 大同工業、インド3倍

2輪車チェーン／年580万台

大同工業は、インド・ラジャスタン州の工場を増強し、2015年に2輪車用チェーンの年産能力を現在の3倍超の580万台に拡大する。日系2輪車メーカーの生産拡大や市販の需要増。(5面)

### 台湾製の仕事機械で攻勢

ハンサユーアイ／7割低価格

ハンサユーアイジャパンは、台湾メーカー製のフライス盤とワイヤ放電加工機の2製品を7月に発売し、販売攻勢に出る。日本製に比べ57割減の低価格を武器に、量産部品向け開拓。(7面)

### サッポロ、東南アでビール拡販

ベトナム発／日系企業進出

サッポロインターナショナルは、ベトナムを中心に東南アジアでビールを拡販。日系企業の進出に合わせ自社ビールを扱う飲食店が増加。インドネシア、ミャンマーなども開拓。(13面)

今回は -

「中国・アジア ダイジェスト」面の  
今回は5月13日(月)に掲載します。

4月26日(金)

### 大王製紙、紙おむつ工場

月3000万枚／南通市11月稼働

大王製紙は、中国にベビー用紙おむつを生産する工場を建設する。約60億円投資。江蘇省南通市に100%出資の現地法人を設立。生産能力は月3000万枚。工場は10月に完成、11月稼働。(11面)

### 即席ラーメン、中国1位440億食

2012年／世界1000億食突破

2012年の世界のインスタントラーメン総需要が1000億食を突破、1014億2000万食だった。1位が中国で440億食、2位がインドネシアで141億食、3位が日本で54億食。(12面)

## TELOP

### ヤマダ電機、南京店を開鎖

来月末(23日14面)

### フリーマガジン発行企業に出資

日本アジア投資など(23日19面)

### ファウェイ製データ通信機発売

auなど(24日11面)

ひと

### ビリ辛採点



「工作機械の生産額は中国に抜かれたが、質と量を総合的に考慮すれば日本が依然ナンバーワンだ」と牧野フライス製作所社長の牧野二郎さん。機械の使い方は北米が進んでいるが「使い方も一番と思っている」。ビリ辛採点には、国内顧客の向上への熱い思い。(26日7面)

日韓経済人会議が閉幕  
(日本側団長の佐々木幹  
夫日韓経済協会会長)



### 未来志向の提携を強化

日韓経済人会議が閉幕

日韓経済人会議は、「東アジアが世界経済の主導的役割を果たすことを目指し、未来志向的な提携を強化する」を骨子とする共同声明を採択して閉幕。一つの経済圏を目指し連携を強化。(2面)

## TELOP

### H I O K I、韓国に駐在員事務所

現地代理店を支援(23日3面)

### アサダ、印に全額出資子会社

配管関連機器(24日9面)

### 日興AMがアジアR E I T

追加盟投資信託(26日17面)

### アジア企業ファンド新設

大和証券投資信託(26日17面)

ひと

### 相当に力をつけてきた



「インドネシアの活気はすごいね」と目を丸くするのは、industria社長の高橋一彰さん。月の半分は現地工場ですごしている。自動車向け溶接製造ラインなどを手がけている。期待を寄せる一方で、「現地企業も相当に力をつけてきた」とちょっぴり懸念も。(24日27面)

# 100年経営の会

随時会員企業募集中

(入会資格は、創業60年以上)

## 100年経営の会

「閉塞感を打開する原動力に」

日本には創業100年以上の企業が2万社以上あります。

こうした長寿企業の多くは持続的な成長を目指す独自の経営理念を持ち、顧客や従業員、地域社会との結びつきを大切にしています。日刊工業新聞社は2011年に長寿企業に学ぶ「100年経営の会」を立ち上げました。本会の趣旨は多くの危機を乗り越えてきた経営を長寿経営として理論化し情報発信することです。会員企業の歴史から長年培われた日本型経営の優れた点を探っております。

「100年経営の会」に関するお問い合わせ・お申し込み先

日刊工業新聞社 100年経営の会事務局  
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1 (日刊工業新聞社内)

TEL 03-5644-7608  
FAX 03-5644-7209

100年経営の会 検索

## 活動内容

### ■ 勉強会の定期開催

「長寿経営」の理論化を目指し、アカデミズムとも連携しながら勉強会を月に1回程度開催していきます。長寿経営企業の経営者を招き、創業の精神(経営理念や哲学)、環境変化に対応するための変化(事業転換や技術革新、本業と新規事業の関係性)、リスクマネジメント、ブランド力、事業承継、地域社会との関わりなど、さまざまな角度から分析し、知的資産経営をベースに体系化し、経営論の構築を目指します。一定の調査内容がまとまった段階で、日刊工業新聞紙上で研究成果を報道します。

### ■ 長寿経営の価値の普及活動

シンポジウムの開催 大型シンポジウムを計画するほか、地方都市でも地元自治体や団体などと協働し、地域密着型のシンポジウムを開催します。100年以上持続発展してきたような長寿経営企業から、創業の精神や理念の持続をはじめ、危機克服の経験、環境変化に対するイノベーションなどを学び合い、知的資産経営論をベースに長寿経営の魅力を広く国内外に発信します。

### 情報発信事業

ホームページの運営で国内外へ長寿経営の価値を情報発信します。映像化などにも取り組み、ウェブなどでの情報運用を展開します。また、日刊工業新聞など日刊工業新聞社が有する各種媒体と連動した情報発信も積極的に行います。

### ■ 長寿経営企業の顕彰事業

創業100年を迎えた企業の顕彰制度創設に取り組みます。2013年度は制度の設計など具体的な準備などを進め、早期実施を目指します。

### ■ 海外の長寿企業や団体などとの連携

海外の長寿企業の経営を調査、分析するほか、類似の団体との連携関係の構築を進めます。